



TITLE:

# 1934年度に於ける花山天文臺談話會

AUTHOR(S):

---

CITATION:

1934年度に於ける花山天文臺談話會. 天界 1934, 14(159): 336-336

ISSUE DATE:

1934-06-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/165551>

RIGHT:

## 1934年度に於ける花山天文臺談話會

〔第一回 1月 25日 15時〕

山本臺長 “Short statistics of Variable Stars”

1933年終末に於ける Prager の變星表よりして Long Period, Irregular, Cepheids, Eclipsing variables 及び Unknown character の變星總數6081個について、それが天球上に於ける位置による Percentage の比較研究。

〔第二回 2月 1日 15時〕

小山理學士 “1928—1931年間の變星觀測報告”

藤井氏 “1933年十一月の獅子座流星の觀測報告に就て”

〔第三回 2月 8日 15時〕

宮本正太郎氏 “Mirror の aluminium メツキについて”

山本臺長 “漁業用ガラス玉” 1933年春北米海岸に日本より漂着したものの話  
“三球儀” 山口縣柳井町の朝枝松太郎作三球儀の紹介。

“高松の隕石について” 去10月29日落下せるもの、松山博士の研究を紹介、

〔第四回 3月 8日 15時〕

平井利朗氏 “日食觀測行”

〔第五回 4月 12日 15時〕

山本臺長 “1925年第2彗星(1927i)の變光について”

他の彗星に類のない著しい變光が発見されて以來此の星により多くの眼が集中される様になつた。今年も3月10日より14日に渡つてヤキーヌ天文臺では18等より12等に増光された此の彗星を迎へ送つた。此等に關する過去七年間の變光史である。

〔第六回 5月 5日 15時〕

山本臺長 “W. Baumann und R. Mecke 發表の Das Ultraviolette Sonnenspektrum von  $\lambda$  10000 bis  $\lambda$  7600 A.E. の紹介”

小山理學士 Schneller: “Untersuchungen über kurzbrennweitige photographische Objective und deren Verwendung bei den Beobachtungen über Veränderliche Sterne.”

稻葉理學士 “Double star の觀測法”

〔第七回 5月 19日 15時〕

柴田理學士 “Kepler Equation 解法の器械説明”

### 天界舊號を頒ちます!!

廣  
告

第一卷第一號より全卷に渉り在庫

卷の古いものは部數僅少で尙ほ多少欠號もありますから、御希望の方は一應御問合せ下さい、(精細は廣告欄參照)

東亞天文協會事務室